



# 宝永小だより

No.11

福井市宝永小学校

令和8年8月28日

学校教育目標:ひとり立ちできる子 ~心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成~  
めざす児童像:進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

## 1学期後半スタート

8月27日(木)から、1学期後半が始まりました。夏休みが終わり、一回りたくましくなった子どもたちが元気に登校してきています。早速、校内に響く子どもたちの歓声で、学校に活気が戻ってきました。久しぶりに挨拶を交わした子どもたちは、元気な姿と、お手伝いや様々な体験をして自信に満ちあふれた笑顔を見せてくれました。学校では、校内運動会や様々な教育活動を予定しています。熱中症対策をしながら、子どもたちにとって充実した学びの多い活動を実施していきたいと考えています。子どもたちが、笑顔で元気に学校生活を送ることができるよう、引き続き、保護者の皆様・地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。



＜オンラインによる全校朝礼の様子＞

下記に、前号の「宝永小だより」に掲載できなかった、夏休み前の子どもたちの学習の様子を、ご紹介します。

## 全学年 情報モラル教室の開催 7月6日(月)・7日(火)

2日間にわたって福井市愛護センター(福井市教育委員会事務局 学校教育課内)の〇〇〇〇様をお招きして、学年ごとに情報モラル教室を実施しました。それぞれの学年に応じた動画を視聴した後、1年生は「タブレットを使うときは、どのようなことに気を付ければよいのか?」、2年生は「動画視聴等でタブレットを使いすぎないために、どうするとよいのか?」、3年生は「公共の場において、スマートフォンをどのように使うとよいのか?」4年生は「インターネット上で対戦型ゲームを楽しんでいた2人が、どうしてけんかをするようになったのか?」、5年生は「少年野球のチームメイトの悪口をSNS上の掲示板に書き込み、炎上してしまったことに対して、何が悪かったのか?どうすれば良かったのか?」、6年生は「お気に入りのスイーツ情報を、安易にお店紹介や自宅周辺の情報等と共に動画配信したことで、見知らぬ人に自宅の位置を突き止められてしまったこと、何が悪かったのか?どうすれば良かったのか?」を中心に、学年で小グループの仲間と話し合ったり、話し合ったその内容を伝え合ったりして、インターネットやSNSなどのデジタル機器を正しく安全に利用するために必要な考え方や態度を高めることができました。



＜小グループの仲間と話し合う様子＞

## 4年生 盲導犬について学ぶ 7月8日(水)

盲導犬と一緒に生活しておられる 〇〇〇〇〇 氏をお迎えして、盲導犬に関するお話を伺いました。まず、子どもたちは、盲導犬についてのビデオを見せていただき、目の前にいる盲導犬がたくさん訓練を受けて、その間にあった数々の試験に合格してきたことを知りました。その後、ゲストティーチャーから盲導犬と一緒に暮らすためには、盲導犬が生き物であることから、そのお世話をする必要があり、互いに支え合って生活をしていることを学びました。お話が終わると、子供たちは近くで盲導犬を見せていただいたり、点字のトランプやオセロ、絵本なども触らせていただいたりして、目の不自由な方の生活を想起することのできる体験ができました。



＜盲導犬が寄り添う中で、お話が進む様子＞

## 3年生 スーパーマーケット見学 7月9日(木)

社会科「店ではたらく人」の学習の一環として、地域のスーパーマーケットである「グルメ館」を見学させていただきました。子どもたちはバックヤードや各売り場を、興味津々に見ていました。お店のスタッフの方の丁寧な対応のおかげで、大変充実した活動ができました。大きな機械からミンチ肉が次々に出てきたり、トレイに入った惣菜を機械の上に置くと自動でラップをかけたりする様子には驚くばかりでした。また、正しい身だしなみの貼り紙や調理レシピの貼り紙などを見つけて、その意図が何なのかを考える場面もありました。子どもたちは見学を通して、教科書で学んだ知識を実際に確かめたり新たな工夫に気付いたりして、理解を深めることができました。



＜店員さんの話に聴き入る子どもたち＞

## 全校 にこフレ活動～ふれあい集会に向けて～ 7月14日(火)

ふれあい集会はにこフレ

班で、地域(宝永地区)の歴史的な建物やお店などのいろいろな場所をめぐり歩き、地域(宝永地区)のすてきなところをたくさん見つける縦割り活動です。その中でも、地域(宝永地区)のお宝さんと直接触れ合う体験活動は、ふれあい集会のメインとなります。本年度も弓道体験、火おこし体験、ジャズ鑑賞体験など、全部で12の体験が準備されました。この日は、全校児童がにこフレ班ごとに集まり、11月14日(金)に開催されますふれあい集会の体験場所の候補を、相談しながら決めていきました。6年生のリーダーを中心に、一人一人が体験したいと思う内容を言いながら互いの思いを尊重しつつ、希望先をいくつか絞って決めていくのは大変だったようです。5・6年生の子どもたちの中には、下級生のメンバーに対して「どの体験がしたい?」と聞き出そうとしたり、これまで体験してわかっていることを説明したりする姿が見られました。頼もしい限りです。高学年にもなれば、異年齢の集団の中で話し合っ折り合いを付けながら合意形成を図ってきた経験が積み上げられており、その集団の中で果たすべき役割を理解して行動できるように育っていると感じる瞬間でした。ふれあい集会の計画は始まったばかりです。今後の子どもたちの成長が楽しみです。



＜体験場所の候補を話し合っ選ぶ様子＞

## 4・5・6年生 着衣泳を学ぶ 7月15日(水)

6月下旬から、プール学習を行ってきました。この

日は福井市中消防署員の方から、「着衣泳法」を教えてくださいました。「着衣泳」とは、いざというとき、呼吸を確保し、救助されるまで浮き続ける自己保全を目的とした対処法です。子どもたちは普段の水着を着用し、仰向けで水に浮かんでみました。その後、水着の上に衣服やズックを身に付けた状態でプールに入りました。まず、中消防署員の方からプール内を大きく右回りと左回りで動いてみるよう指示が出され、子どもたちは体が思うように動かないことを体感しました。その後、中消防署員の方から無理に泳ごうとすると危険なことが説明され、体の力を抜いて仰向けで水に浮かんでみるよう勧められ、多くの子どもたちは仰向けにプカッと浮かび、「上手、上手」と中消防署員の方から褒めていただきました。また、ペットボトルをお腹に抱え、体の力を抜いて仰向けで水に浮かぶ体験もしました。最後に、海のように波のある所や川のように流れのある所では、体の力を抜いて、仰向けで水に浮かんで救助を待つことが、命を守る大切な行動であると学びました。



＜着衣のまま水に浮かぶ子どもたち＞

## 3年生 点画のポイントを伝授 7月15日(水)

本年度も書写の授業で、〇〇〇〇様に特別非

常勤講師としてご来校いただき、子どもたちに書の極意を伝授していただきました。この日は3年1組と2組に入っいただき、JA書道展の半紙の課題「いねかり」に挑戦しました。子どもたちは筆を立てることや点画のポイントを学び、何度か空書きをした後、手本を見ながら一画ずつ確認し、集中して書き進めました。また、書く前に半紙を折って、4つの枠の中に字のバランスや中心を意識して一筆一筆を慎重に運んでいくことも分かりやすく指導していただきました。その後も、姿勢よく書いているところや筆の穂先を意識しながら筆を運んでいるところなどを褒めていただくと、子どもたちはどんどん上達し、「いい字が書けた」と満足そうでした。12月にもご来校いただき、3年生から6年生までの各学級で書き初めの課題をご指導していただくことになっています。



＜アドバイスを聞き入れる子どもたち＞

## 夏休み前の町内子ども会を開く 7月16日(木)

本年度になって2回目の町内子ども会が開

催されました。4月からの集団登校の反省、夏季休業中を含めた町内での過ごし方について、子どもたちと担当の教職員とで確認をしました。集団登校の反省では、集合時刻が適切かどうか、集まった時に互いにあいさつができているか、集まった所で危険なことはしていないか、集団登校の様子はよいかなどの点で振り返りました。また、町内での過ごし方では、危険な場所や遊んではいけない所で遊んでいないか、危険な遊びはしていないか、正しく自転車に乗っているかなどの内容で、相互点検を行いました。

40日間の夏休みを健康で安全に過ごし、8月27日(木)の授業再開日に、子どもたちは元気に登校してくることができました。



＜集団登校の様子を振り返る＞

\*8月11日(火・祝)に、学校体育施設開放委員会の皆様、体育館のワックスがけをしてくださいました。日頃の使用により、白っぽくなっていた床でしたが、丁寧に作業をしてくださったおかげで、艶が蘇りました。猛暑の中の作業、本当にありがとうございました。